

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

# 変額保険

## グローバルミックス

# 四半期運用レポート

## 2014年4月～2014年6月

【利用する投資信託の委託会社】

**アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社**



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

### 特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。  (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ALM & 特別勘定運用部が行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)	
債券 50%			

※ 特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

# 変額保険

## 特別勘定の四半期運用レポート (2014年4月～2014年6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

### 運用環境 [ 2014年4月～2014年6月 ]

#### 【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前期末比+4.96%上昇の1,262.56ポイントで終了しました。

4月は、米国の経済指標の改善などを受けて上昇後、日銀が金融政策を現状維持にとどめたことなどから大幅に下落しましたが、その後、米国株式市場の上昇などを背景に反発しました。5月は、堅調な米国経済指標の発表などが続く一方で、円高の進行などが重石となり揉み合う展開となった後、6月中旬にかけて、米国の景気に対する先行き期待感などを背景に大幅に上昇しましたが、高値警戒感などから上値の重い展開で期を終えました。

業種別(東証33業種)では、国債利回りの低下基調を受け、「その他金融業」(前期末比+15.00%)が最も上昇した一方、資源価格高騰の影響が懸念された「パルプ・紙」(同△9.10%)が最も下落しました。

#### 【外国株式市場】

米国株式市場は、4月、経済指標の改善などにより上昇した後、企業決算発表の本格化を控え警戒感が強まったことなどから下落しましたが、5月中旬にかけて、良好な企業決算発表などを背景に上昇する一方、長期金利の急低下を受けて利ざや縮小が意識され金融株への売りが強まったことなどから下落し、揉み合いました。6月中旬にかけては、イラク情勢の悪化などにより下落する場面もありましたが、経済指標の改善などにより史上最高値を更新するなど上昇基調が続いた後、月末は利益確定目的の売りが優勢となりました。期を通して見ると、NYダウは、前期末比+2.24%上昇の16,826.60ドルで終了しました。

欧州株式市場は、4月、米国の経済指標の改善などにより上昇した後、ウクライナ情勢への懸念などから下落しましたが、5月中旬にかけてウクライナ情勢の世界経済への影響などを背景に揉み合いながら推移しました。6月上旬にかけては、ECB(欧州中央銀行)が追加金融緩和を決定したことなどから上昇基調で推移しました。その後、月末にかけて、世界銀行による経済成長見通しの引き下げや景況指数の悪化などから揉み合いで推移しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+2.21%上昇、仏CAC40は同+0.71%上昇、独DAXは同+2.90%上昇となりました。

#### 【日本債券市場】

日本債券市場は、4月、国内株式市場の下落などを受けて金利は低下(価格は上昇)した後、東京都区部消費者物価指数が急上昇するとの警戒感などから小幅ながら上昇(価格は下落)しました。5月は、欧米金利の低下や、国債需給が良好との見方の強まりなどから低下しました。6月は、30年国債入札の低調な結果などを受けて上昇した後、欧米金利の低下などを背景に低下しました。新発10年国債利回りは0.565%となりました(前期末は0.640%)。

日銀はマネタリーベースが年間約60～70兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

#### 【外国債券市場】

米国債券市場は、4月、経済指標の改善などを受けて金利は上昇(価格は下落)して始まりましたが、5月下旬にかけて、ウクライナ情勢を巡る動きや金融緩和の長期化などが意識される一方、利益確定目的の売りが強まるなど揉み合いながら低下(価格は上昇)しました。6月は、経済指標が概ね良好だったことなどから大幅に上昇した後、順調な2年国債入札の結果などを受けて低下基調で推移し、米10年国債利回りは2.530%となりました(前期末は2.718%)。

欧州債券市場は、4月、米国の経済指標の改善などを受けて金利は上昇(価格は下落)して始まりましたが、5月中旬にかけて、ECBへの利下げ期待などから低下(価格は上昇)基調で推移しました。6月中旬にかけて、米国の経済指標の改善などから上昇する一方、ECBが追加金融緩和を決定したことなどから低下するなど揉み合いで推移しましたが、月末にかけて、ユーロ圏の景況感指標の低下などを背景に低下し、独10年国債利回りは1.245%となりました(前期末は1.566%)。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を0.10%引き下げ、年0.15%としました。

#### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、4月中旬にかけて、米国の経済指標の改善などから円安となった後、米国の金融緩和と長期化観測の強まりなどから円高が進行しましたが、5月下旬にかけて、米国株式市場の上昇や、日銀総裁による会見で追加の金融緩和に関する目新しい材料がなかったことなどから揉み合いとなりました。6月は、米国金利の上昇などを背景に円安となった後、イラク情勢の悪化や米国金利の低下などを背景に円高基調で推移し、円は対ドルで前期末比1円56銭円高ドル安の1ドル=101円36銭となりました(前期末比△1.52%下落)。

ユーロ/円相場は、4月、米国の経済指標の改善などから円安となった後、ウクライナ情勢の緊迫化などから円高が進行しましたが、ウクライナ情勢の世界経済への影響は限定的との見方が優勢となったことなどから円安の動きとなりました。5月は、ECBの追加緩和観測の高まりなどから大幅に円高が進行しました。6月は、ECBの景気刺激策への懐疑的な見方などにより円安で推移した後、中旬にかけてイラク情勢を巡り円高基調で推移し、円は対ユーロで前期末比3円34銭円高ユーロ安の1ユーロ=138円31銭となりました(前期末比△2.36%下落)。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

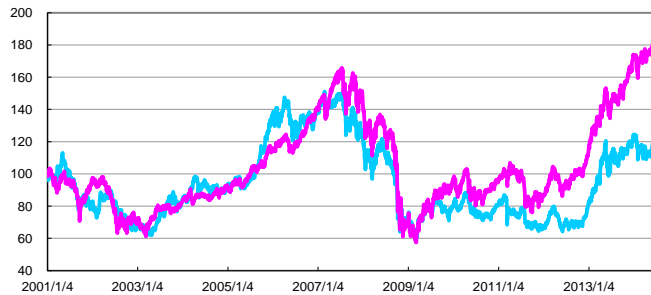
お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

#### 日本と外国の株式市場の推移

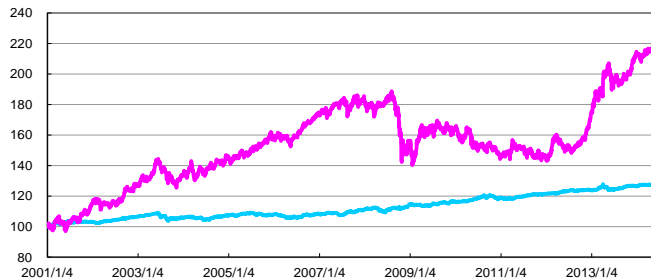
\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



TOPIX(東証株価指数、配当込) MSCI ニコサイ指数 (除く日本、円ベース、税引後配当込)

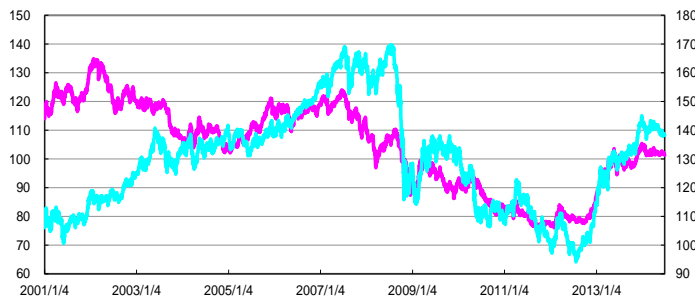
#### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



NOMURA-BPI 総合指数 シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

#### 外国為替市場の推移



米国ドル・円レートの左軸 ユーロ・円レートの右軸

出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

## 変額保険

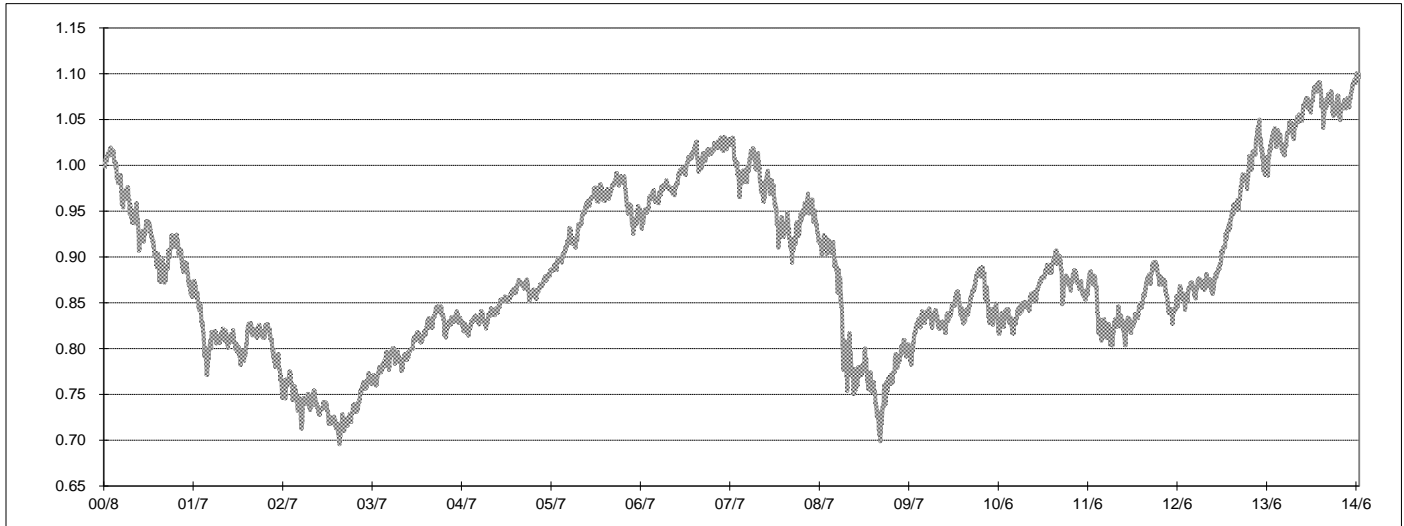
### 特別勘定の四半期運用レポート (2014年4月～2014年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

#### 特別勘定の運用状況 [ 2014年6月 末日現在 ]

##### ■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2014年6月末	2014年5月末	2014年4月末	2014年3月末	2014年2月末	2014年1月末
INDEX	1.099	1.081	1.065	1.069	1.072	1.064
騰落率(%)	過去1ヵ月 1.64	過去3ヵ月 2.85	過去6ヵ月 1.30	過去1年 9.00	過去3年 26.15	設定来 9.92

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

##### ■特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	1,843,505	4.4
その他有価証券	40,260,693	95.6
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	4,167,748	9.9
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュウ株式ファンド(B)	6,288,521	14.9
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	6,910,427	16.4
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	4,365,974	10.4
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	18,528,022	44.0
合計	42,104,199	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

##### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。  
資産配分に関しては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。)  
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

##### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額保険

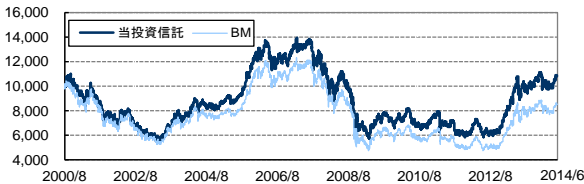
## 特別勘定の四半期運用レポート (2014年4月～2014年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)の運用状況

[ 2014年6月 末日現在 ]

#### ■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

#### ■ 当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	5.41%	5.25%	▲2.27%	12.42%	54.34%	7.70%
BM	5.09%	4.96%	▲3.05%	11.35%	48.67%	▲14.84%
差	0.32%	0.29%	0.78%	1.07%	5.67%	22.54%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1)</sup>です。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### ■ マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○ 業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 輸送用機器	12.24%
2 電気機器	11.56%
3 銀行業	9.86%
4 情報・通信業	7.22%
5 小売業	7.03%
6 卸売業	6.22%
7 化学	5.51%
8 医薬品	4.57%
9 その他業種	34.78%
10 現金等	1.02%
合計	100.00%

##### ○ 市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	98.98%
2 現金等	1.02%
合計	100.00%

##### ○ 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	4.63%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.59%
3 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.11%
4 日本電信電話	情報・通信業	2.05%
5 ソフトバンク	情報・通信業	1.81%
6 KDDI	情報・通信業	1.78%
7 本田技研工業	輸送用機器	1.54%
8 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.26%
9 東海旅客鉄道	陸運業	1.22%
10 日本たばこ産業	食料品	1.11%
合計		21.08%
組入銘柄数		265銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### ■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前期末比+5.25%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前期末比+4.96%となりました。当期の日本株市場は、株価を1株あたりの利益と比較した時に割安であった銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた文化シヤッター(5930)やハピネット(7552)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していたアーク(7873)や水戸証券(8622)が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ～8ページに記載されている「1～4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額保険

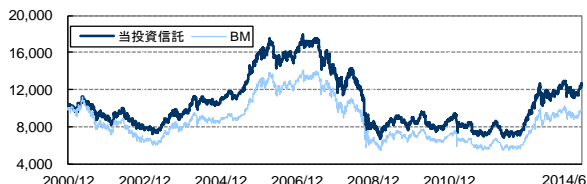
## 特別勘定の四半期運用レポート (2014年4月～2014年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーク・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[ 2014年6月 末日現在 ]

#### ■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

#### ■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	5.62%	6.76%	▲1.42%	12.91%	52.41%	25.91%
BM	5.09%	4.96%	▲3.05%	11.35%	48.67%	▲2.07%
差	0.53%	1.80%	1.63%	1.56%	3.74%	27.98%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1)</sup>です。

#### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 電気機器	13.98%
2 輸送用機器	9.17%
3 化学	8.98%
4 情報・通信業	8.95%
5 銀行業	8.84%
6 医薬品	8.21%
7 陸運業	5.07%
8 その他金融業	4.74%
9 その他業種	30.63%
10 現金等	1.43%
合計	100.00%

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

##### ○市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	97.93%
2 東京証券取引所第二部	0.38%
3 ジャスダック証券取引所	0.25%
4 名古屋証券取引所第一部	0.01%
5 名古屋証券取引所第二部	0.00%
6 現金等	1.43%
合計	100.00%

##### ○組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.49%
2 日本電信電話	情報・通信業	3.45%
3 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.40%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.31%
5 KDDI	情報・通信業	2.95%
6 アステラス製薬	医薬品	2.89%
7 東海旅客鉄道	陸運業	2.71%
8 三菱電機	電気機器	2.68%
9 オリックス	その他金融業	2.47%
10 第一三共	医薬品	2.12%
合計		30.45%
組入銘柄数		112銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### ■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前期末比+6.76%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前期末比+4.96%となりました。当期の日本株式市場は、株価を1株あたりの利益と比較した時に割安であった銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた事務機器や移動体通信が上昇したことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた東海旅客鉄道(9022)やセイコーエプソン(6724)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していたディー・エヌ・エー(2432)やグリー(3632)が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「1～4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額保険

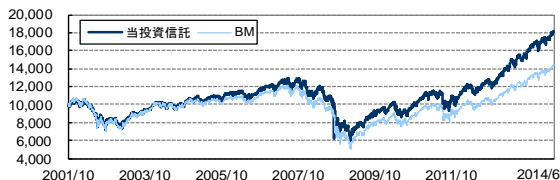
## 特別勘定の四半期運用レポート (2014年4月～2014年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーク・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募) の運用状況

[ 2014年6月 末日現在 ]

#### ■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

#### ■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.09%	5.88%	6.92%	24.35%	63.08%	81.10%
BM	2.11%	5.51%	6.39%	21.31%	48.56%	43.51%
差	▲0.03%	0.38%	0.53%	3.04%	14.52%	37.59%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数<sup>2</sup>(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーク・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーク・米国株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

#### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○ セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 ソフトウェア・サービス	11.87%
2 エネルギー	10.92%
3 医薬品・バイオテクノ・ライフ	10.24%
4 資本財	8.51%
5 テクノロジー・ハードウェア	6.31%
6 銀行	5.53%
7 食品・飲料・タバコ	4.95%
8 ヘルスケア機器・サービス	4.37%
9 その他業種	36.88%
10 現金等	0.41%
合計	100.00%

##### ○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.82%
2 WELLS FARGO & COMPANY	アメリカ	銀行	2.15%
3 EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	2.05%
4 PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.90%
5 MERCK & CO INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.61%
6 ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.48%
7 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.44%
8 GOOGLE INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.34%
9 GOOGLE INC-CL C	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.32%
10 QUALCOMM INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	1.30%
合計			17.41%
組入銘柄数			225銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### ■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前期末比+5.88%となりました。一方、ベンチマークであるS&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は、前期末比+5.51%となりました。当期の米国株式市場は、株式の売買が活発に行なわれた銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた防衛関連やソフトウェアが下落したことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた半導体・半導体製造装置のMicron Technology IncやエネルギーのApache Corpが上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ～8ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額保険

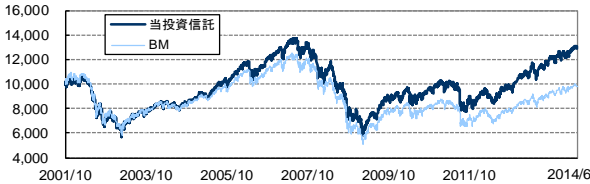
## 特別勘定の四半期運用レポート (2014年4月～2014年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーク・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)の運用状況

[ 2014年6月 末日現在 ]

#### ■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

#### ■ 当投資信託の騰落率

投資信託	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
当投資信託	▲0.76%	2.99%	4.12%	19.25%	31.41%	28.72%
BM	▲1.16%	1.76%	2.82%	16.25%	19.55%	▲2.31%
差	0.41%	1.23%	1.30%	3.01%	11.87%	31.03%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数<sup>3</sup>(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### ■ 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーク・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリュー株)を選択してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーク・欧州株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

#### ■ マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○ 国別構成比率

順位	国名	マザーファンド
1	イギリス	28.85%
2	フランス	14.96%
3	ドイツ	13.57%
4	スイス	12.75%
5	オランダ	6.30%
6	スペイン	5.80%
7	スウェーデン	4.18%
8	デンマーク	3.09%
9	その他の国	9.65%
10	現金等	0.85%
合計		100.00%

##### ○ セクター別構成比率

順位	セクター	マザーファンド
1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	12.10%
2	銀行	9.77%
3	食品・飲料・タバコ	9.19%
4	資本財	8.47%
5	素材	8.42%
6	エネルギー	8.28%
7	保険	7.17%
8	電気通信サービス	5.97%
9	その他業種	29.79%
10	現金等	0.85%
合計		100.00%

##### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	2.46%
2	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.38%
3	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.06%
4	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.93%
5	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	1.92%
6	ROCHE HOLDING AG-GENUSSS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.72%
7	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.72%
8	BHP BILLITON PLC	イギリス	素材	1.55%
9	RIO TINTO PLC	イギリス	素材	1.38%
10	DAIMLER AG	ドイツ	自動車・自動車部品	1.37%
合計				18.49%
組入銘柄数				196銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### ■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前期末比+2.99%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前期末比+1.76%となりました。当期の欧州株式市場は、配当利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託では、これらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことがプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、少なめに保有していた石油メジャーが上昇したことや多めに保有していた小売が下落したことはマイナスに寄与しました。国別ではイタリアの銘柄を少なめに保有していたことがプラスに寄与しました。個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスのShire Plc(イギリス)やAstrazeneca Plc(イギリス)が上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選択してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ～8ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額保険

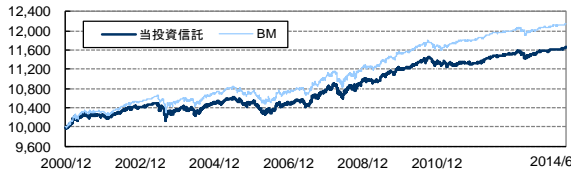
## 特別勘定の四半期運用レポート（2014年4月～2014年6月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[ 2014年6月 末日現在 ]

#### ■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

#### ■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
BM	0.15%	0.36%	0.77%	1.47%	3.18%	16.55%
差	0.01%	0.02%	0.01%	0.08%	▲0.32%	▲4.96%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合<sup>4</sup>、中期3年以上7年未満)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.73年	94.36%
国債	5.52年	71.46%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	1.96年	2.90%
金融債	0.41年	0.93%
社債等	2.42年	19.07%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等*	0.00年	5.64%
合計	4.47年	100.00%

\* 債券先物を含みます。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

##### ○公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	87.52%
A	10.48%
BBB	2.00%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:

※ 海外格付機関の格付を優先します。

※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付を採用します。

##### ○組入上位10銘柄

	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	第303回利付国債(10年)	日本	1.400%	2019年9月20日	Aa3	AA-	8.47%
2	第326回利付国債(10年)	日本	0.700%	2022年12月20日	Aa3	AA-	6.33%
3	第106回利付国債(5年)	日本	0.200%	2017年9月20日	Aa3	AA-	5.79%
4	第305回利付国債(10年)	日本	1.300%	2019年12月20日	Aa3	AA-	5.43%
5	第322回利付国債(10年)	日本	0.900%	2022年3月20日	Aa3	AA-	4.85%
6	第330回利付国債(10年)	日本	0.800%	2023年9月20日	Aa3	AA-	4.68%
7	第109回利付国債(5年)	日本	0.100%	2018年3月20日	Aa3	AA-	3.26%
8	第315回利付国債(10年)	日本	1.200%	2021年6月20日	Aa3	AA-	2.97%
9	第295回利付国債(10年)	日本	1.500%	2018年6月20日	Aa3	AA-	2.95%
10	第298回利付国債(10年)	日本	1.300%	2018年12月20日	Aa3	AA-	2.94%
合計							47.66%
組入銘柄数							43銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### ■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前期末比+0.36%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)は前期末比+0.34%となりました。当期の当投資信託は前四半期からの戦略を維持し、ベンチマーク並みの結果となりました。日銀の量的緩和継続に加えて、ECBの追加緩和期待やFRBの成長見通し下方修正を受けての低金利政策長期化観測の高まり等による海外債券高の流れを受けて、当四半期末の10年国債利回りは前四半期末比0.075%低下の0.565%となりました。委託会社は、景気の回復等を背景に日本国債の利回りには上昇圧力がかかる可能性があるかと予想しています。今後の当投資信託の方針として、デュレーション戦略では徐々に短期化を進め、種別戦略ではベンチマーク対比での国債の少なめの配分と非国債の多めの配分を維持する予定です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「1～4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>



# 変額保険

## 用語説明

- \*1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。  
東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下株東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。  
株東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- \*2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。  
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。  
同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はSMBC日興証券株式会社に帰属します。また、SMBC日興証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

## 注意事項

### ○変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

\*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

### ○変額保険のリスクについて

#### ①市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

#### ②信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>